

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

「分割」阻止！三里塚二期着工粉碎！
当局の手先となって動労千葉・国労破壊を狙う

広域配転粉碎

国鉄革マル分子を徹底糾弾・掃せ

動労千葉は、「広域配転」について、申第二五号をもって申し入れを行ってきたが、四月十五日、当局は「広域異動で千葉局でも余剰人員がさらに増えるが、その取り扱いについては判らない」などのふざけ切った回答をしてきた。当局は、動労革マルの全面協力をえて広域配転を強行せんとしている。応募者の九〇％が動労革マル分子であり、千葉局については運転職場に百〇五十名と言われている。当局と一体となった動労革マルによる国労・動労千葉破壊攻撃はますます熾烈化してきており、まさに動労革マルとの対決なくして勝利はない。いまこそ動労「本部」革マルを全職場から追放・一掃せよ。

動労千葉・国労労働者から 仕事を奪うことが狙い

当局は、広域配転について「従来からの希望配転と同様の扱い」とし説明のみで強行しようとしてきた。動労千葉は、申第二五号で「千葉局として広域異動者の受け入れについて系統別にどのように考えているのか。さらに、受け入れによって現在、千葉で働いている職員と広域異動による職員について取り扱いをどうするのか」等、申し入れを行ってきた。当局は、「異動者が見習いを終了しない本務につけるので過員は増えるが、そ

の取り扱いについては判らない」としているが、広域配転を受け入れれば過員を抱えているどの職場においても、本務から玉つきのにはみ出し、職場から離れざるをえない職員が生じるのだ。

労働運動解体攻撃許すな

広域配転とは、当局のいう「余剰人員の地域的なアンバランスを調整する」などとはまったくのウソで、動労革マルを東京・大阪そして千葉に送りこみ国労や動労千葉を叩きつぶし、そのうえで「分割・民営化」の既成事実をつくり上げようとする攻撃なのだ。

マル生・首切りの先兵 動労革マル追放・一掃

「応募者」の九〇％が動労革マルだ。鉄労と結託し「真国労」をデッチ上げ運転職場では国労から集団脱走させ国労を解体しようとしている御用組合・動労革マルを送りこまれる職場でどのような事態が起るのか。国労・動労千葉の労働者を差別・分断し、対立させ、そして選別することがやられるのだ。

動労革マル・松崎は、「動労革マルが助かるために国労・動労千葉を切れ」と中曽根・三塚・杉浦に要求してきた。こんな極悪なマル生分子を絶対許してはならない。腐り切った連中に、われわれの職場を蹂りんされてはならない。

「広域異動」1,000人超す

雇用守る総仕上げ
所定でも国鉄で働く
既方針のように
着実な前進へ自信
円高不況をみすえ
本音の論議で決意を
門司地本
九州地群
北 海道
千人派遣の美談
既方針のように
着実な前進へ自信
門司地本
九州地群
北 海道

応募状況(速報数)
昭和61年3月28日現在

出身地区・局	3 / 28	人数
北海道		
北海道 総局		28
北海道 釧路鉄道管理局		165
北海道 旭川鉄道管理局		483
北海道 青函鉄道の他		160
北海道 合計		837
九州		
九州 九州総局		112
九州 大分鉄道管理局		21
九州 熊本鉄道管理局		10
九州 鹿児島鉄道管理局		6
九州 新幹線総局の他		8
九州 合計		167
総計		1,004



どこへ行っても鉄輪旗の下には仲間が迎えてくれる。住み慣れた故郷を離れるさびしさをのりこえ、新天地でがんばろう。

政府・当局以上の「甘言」「桐喝」で、いやがる組合員を広域配転＝生活破壊に引きまわす動労「本部」革マル。失望きった組合員・家族を追い立てて、東京・千葉をはじめとする大都市圏での国労・動労千葉破壊の先兵にしたてようとしている。こんなことが許せるか！徹底追求・糾弾あるのみだ！（カットは「動力車新聞」より）
※4月15日現在までの応募状況は1875人（動労1332人、国労337人、鉄労17人、施労1人、その他98人）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！